



いわき探検記



2022年6月号 (Vol. 4)
地域おこし協力隊
辻村 春香

岩木地区 地域おこし協力隊の辻村です。
皆さまから少しずつ、反響やご意見をいただけるようになり、うれしいです。
主に回覧板で、各町会の方へ配布をお願いしているのですが、「A3版中折は読みづらい」ということで、A4版で2枚に変更します。(分量が多いのは変わらないですが…)

今後は、毎月15日発行を目標に書き進めていきたいと考えています。
どうぞよろしくお願いいたします。

岩木総合支所 総務課で勤務中!



実録

葛原町会の活動を紹介させていただきます!

4月末～5月頭…ゴールデンウィーク中に、葛原の町会の方たちが活躍する現場に連続でお邪魔することができました。

今回は、天狗堰の泥揚げ作業を見学した件について報告します。(←ろくな戦力になれなかったので「参加」とは言いがたく…) ※天狗堰は葛原地区の田んぼを支える水源です。
4月末の共有林の伐採作業の際、この件を聞き、見学をお願いしました。

①堰について

堰の左岸は山を切り出した3mくらいの断崖、右岸は後長根川の河床に向かう断崖。

右岸側に通路があり、堰の管理に危険がないように措置されていますが、過去に崩れた場所もあり補強がしてありました。

堰の中は落ち葉だらけ。落ち葉を通路側に拾い上げながら取水口まで進みます。



②取水口のようす

数年前、土石流災害の予防のために堰堤が築かれました。堰堤は取水口に接する形で築かれたため、泥が一番たまる地点。

例年5月頭に泥揚げをし、その年の状況によってプラス1～2回、泥揚げを実施。

夏は草が生い茂るので、通路の草刈りも随時おこなっているそうです。



③泥揚げのようす

堰堤に設置している羽目板を外し、水が低い位置で流れるようにして、水面上の泥を下流に流しました。

その作業を、右、左、右、…と6枚の羽目板を順番に外しながら繰り返します。

取水口よりも50センチ以上深い位置の泥が流れたら、羽目板をはめなおして作業完了。



④泥揚げ作業の結果…

作業前にはほとんど水の流れがなかった堰に、滔滔と水が流れるさまは、まさに壮観!

みなさんの労苦が報われた瞬間でした!



葛原地区では、共有林や天狗堰の管理をはじめ、町会でおこなっている資源保全活動は、補助金を獲得し、あの手にこの手で担い手を確保し、活動を維持しているそうです。

「うちの町会も紹介して!」というお声をお待ちしております。(活動に参加させてください♪)

(1) うるしの植樹事業の動き ～岩木地区ではございませんが…

中南県民局×五農 うるし植樹

相馬地区・種澤種苗さんの園地で、五所川原農林高校の学生がうるしの植樹をおこなうと聞き、見学に行きました。

現場が元りんご畑であることは確か。四方をりんご畑に囲まれた緩傾斜地でした。

りんごとうるしが好きな立地は、一緒だということですね。

学生さんは2～3人の班で、県職員らの指導を受けながら、植樹を実施。

学生さんたちは、炎天下・無風で帽子もつけず、半そでで挑んでいました。(←若い!)

※種澤種苗：県から委嘱を受けて、うるしの苗作りをされています。



西目屋村 うるし植樹予定地視察

県のうるし研修会で知り合った弘前市内の女性が、西目屋村でうるしの植樹を計画。

彼女と私との接点は“うるし”“縄文”“考古学”。

白神ビジターセンター企画の縄文ツアーと一緒に参加した休日。ツアー終了後、その足で植樹予定地の視察をしてきました。

植樹地は、西目屋村長のりんご園に隣接。

と、すぐそこに、剪定の後片付けをしている西目屋村長を発見!

早速その場で、りんご園の境界確認と、どのくらい園地とうるしを離して植えるか、相談を始めた彼女…。(←動きが早い!!)



藩政時代、岩木地区を包括する鼻和庄駒越組には広大な“漆林”“漆畑”があり、藩内で3本の指に入るうるし生産地だったそうです。

(2) 高屋地区で、藍と紅花の実験栽培をはじめました!

今年4月からお借りしているスペースに、5月17日、紅花のタネを蒔きました。

種蒔きには遅すぎるタイミング。

私が入手したタネと、“ゆめみるこぎん館”石田女史が入手したタネを使用。

5月25日には発芽を確認!

石田女史と喜びを分かち合いました。

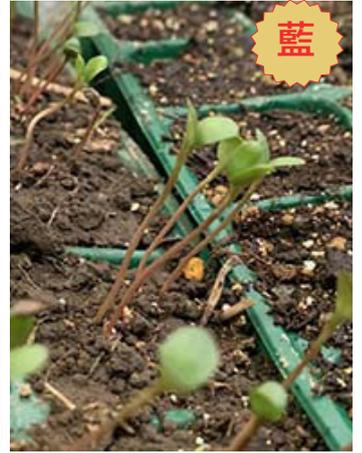
同じ5月17日。藍のタネも撒きました。

こちらは、畑の土を詰めた育苗トレーで苗作りします。

こちらも種蒔きから10日後、発芽を確認。すかさず、石田女史に一報。

すくすくと、自宅の風除室で成長中です。

いつごろ畑に移植しようか、思案中…



“ゆめみるこぎん館”訪問の際は、藍と紅花のようすも見にいらっしゃいませ♪
この夏、“藍の生葉染め体験ワークショップ”を企画予定です!

(3) ひろさき未来創生塾

中間発表会

去る5月15日、弘前市百石町のOrandoで、中間発表会をおこないました。昨年8月から今年の3月までの活動報告です。

市からマスコミに告知しましたが、マスコミ1社も来ず…(><)

一般参加の方やOrandoを拠点に地域づくりをしている方が観客でした。

私は、昨年味噌ワークショップの実施状況や今年の企画内容について発表させていただきました。

(緊張して、何話したか、ほとんど記憶が…)



令和4年度企画「みんなの畑」

6月～来年2月まで、隔週土曜、通年参加できる方を募集しています。

共同運営型のやさしい畑と、食のワークショップをします。

活動拠点は葛原。あちこちをお願いした結果、「いいよ」とおっしゃってくださった農家さんから場所をお借りしての実施です。

もろもろ間に合っておらず、5月スタートは厳しい…。ということで、3月の味噌ワークショップのメンバーに声掛けし、お友達も紹介していただき、有志でジャガイモやトマト苗の植付けをしました。



(4) 岩木地区内の2カ所で、人生初の田植えに挑戦しました！(五代地区、葛原地区)

五代の鈴木農園さんは、昨年秋、知人の紹介で知り合いました。

初訪問の際、上弥生町会で野菜を作っている農家さんを誘って一緒に訪問。

田んぼを今年から休もうと思っていた鈴木さんと、田んぼを始めたいと思っていた農家さんとが、その場でまさかのマッチング…。

ご縁ってわからないものですね。

偶然つないでしまったご縁に導かれての田植えでした。参加者も24名と多かったです。

葛原は、3月に味噌づくりの講師をお願いした岩木山虹農園さん。

鈴木農園さんよりも先に田植え情報をゲットしていたので、先に参加表明していました。

味噌づくりに参加した方はじめ、知人から「田植え参加希望」があり、誘い合わせのうえ、こちらも20名弱で作業をしました。



←田植えした田んぼ (五代)

田植えのひと幕 → (葛原) 少年、嬉しそう!!



いずれの田植えも、岩木地区外からの参加が多かったです。新しい出会いがあり、再会もあり、ご縁が広がっていました。

これから「地域外の方でも気軽に訪れることのできる岩木」をたくさんの方に知っていただきたいですね。

◆◇ 編集後記 ◇◇

5月はずっと雨が降らず、どうなることかとやきもきしていました。
5月下旬、ようやく雨が来て、畑には恵みの雨となりました。
このまま梅雨に入るのかしら…と思いつつも、梅雨に入る前に畑でやるべきことが終わっていない…ということで、相変わらずのドタバタ劇で5月を終えてしまいました。
「やることに追われる生活」から脱却したと思いつつ、6月を有意義に過ごしたいと思っています♪

WANTED

空き家

やってみたいことがあるので、空き家物件を探しています。

- ・部屋数多め（6室以上）
- ・リノベーション・リフォームOK
- ・車庫（倉庫）があると嬉しい
- ・立地：岩木地区の、近隣に農地がある場所
※「足を延ばせば畑や里山に行ける」立地
※バス停に出やすい場所であれば、なお可
- ・その他条件等⇒相談させてください
- ・賃料⇒相談させてください



「管理している空き家はあるけど…」「空き家の仲介、よく頼まれるよ」という方、ご連絡もらえると助かります。

具体的に、何をしようとしているのか、ご説明に伺います！

※“物件はないけど、何やるつもりなのか気になる”という方も、お声がけください。

梅や柿などの果樹

岩木地区内を歩いていると、これからの季節、放置された果実をよく目にします。

庭やリンゴ畑の隅に植えたんだけど、さまざまな理由で収穫されず、放置されている果実たち。

一方で、市街地に住んでいる方からは「梅が手に入るなら、梅干しを漬けてみたい」「庭に柿があるなら、干し柿作りにチャレンジしたい」という声を聴きます。

そこで…、その2者を結びつけるワークショップを企画したいと考えています。

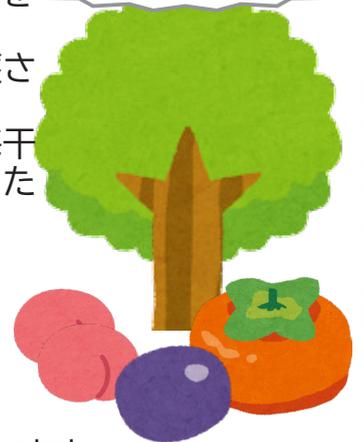
“手が回らなくて採りきれしていない果実（梅、杏、プルーン、柿など）があって困っている方”を探しています。

果実を分けていただけたらな、と。

収穫物・加工物を何割かお返しする形で、お礼したいと考えています。

「提供してもいいよ！」という方いらっしゃれば、お声がけください。

“果実採りたい（隊）”
をつくりたい…



もろもろ情報
お待ちしております！

連絡先
岩木総合支所 総務課

地域おこし協力隊 辻村まで

Tel: 0172-82-1621

Mail: har-tsuji@city.hirosaki.lg.jp



「いわき探検記」
が、協力隊のホーム
ページに掲載されま
した！

こちらからバックナ
ンバーがご覧いただ
けます♪